

劇場は鳴り止まぬ拍手と熱い涙に包まれた……

国境を越えた愛と感動のオペラ

凱旋公演

創作オペラ

ザ・ラストクイーン

2026 in TOKYO

Opera The Last Queen
朝鮮王朝最後の皇太子妃

Produced by Chon Wolson

原案・上演 (脚本・演出) 字幕付き

李万子妃撮影写真



オペラ「ザ・ラストクイーン」
東京公演を祝福いたします
廣橋 興光(李万子妃 甥)

すべての公演が満席となった
衝撃の話題作 ついに最終章へ!

この作品は、日本の皇族から朝鮮王朝最後の皇太子の元へ嫁いだ李万子(1901-1989)をモデルとした創作オペラである。15歳から87歳の方子役を演じるのは「魂の歌声」で世界を魅了するオペラ歌手 チョン・ウォルソン (田月仙)。

「日本人が見ても、韓国人が見ても、感動を共有できる、唯一無二の作品を創ろう」と、「Team Wolson」を結成し、自ら日韓で方子妃の関係者を訪ね歩き直接話を聞いた。未公開の手紙や日記、映像や写真などの資料も発掘し、史実に基づいた台本を完成。作曲はクラシック音楽をベースに日韓のリズムを散りばめたオリジナル作品に仕上げた。2015年日韓国交50周年企画として新国立劇場で初演。センセーショナルな成功を収め、翌年「文化庁芸術祭参加公演」として再演。2019年の大阪公演はキャンセル待ちの大盛況、その後もロングランを続けた。2025年、日韓国交60周年記念事業として、琵琶湖大ホール公演、そして念願の韓国ソウル公演を実現させた。日韓両国に感動と衝撃をもたらした歴史的公演の凱旋公演として白熱の舞台完全版。最後の東京公演、お見逃しなく!



チャン・ウォルソン
田月仙
Chon Wolson
企画・台本・主演

東京出身。世界各国でオペラやコンサートに出演。2024年、秋の叙勲で勲章受章。NHKやKBSで特集番組が放映。二期会会員
<http://wolson.com>

Team Wolson



李万子妃の化身
相沢 康平
バレエダンサー



ソン・ドンファン
作曲・指揮



木下 真子
台本



富永 峻
piano

vocal アンサンブル



金沢 貴恵



星野 律子



石山 陽太郎



相原 嵩

ミュージックアンサンブル



小寺 里枝
violin



花積 亜依
flute



島津 山美
cello



竹内 美乃荷
打楽器



金姫玉
伝説舞踊



EMP山下
俳優



濱中 博久
ナレーション

芸術監督

田月仙

演出協力

金守珍

舞台監督

渡辺 重明

照明監督

芥川 久美子

音響監督

青木 央

字幕・映像

相馬 大祐

衣装

坂井田 操

ヘアメイク

きとう せいこ

記録監督

太田 慎一

STORY

王朝最後の皇太子妃の知られざる真実!

.....1918年夏、日本の皇族、梨本宮家の娘15歳の方子は、自分の婚約を新聞で知ることになる。相手は日本に留学していた旧大韓帝国の皇太子 イ・ウン(李垠)殿下。政略結婚と言われたが、二人の間には真の愛が生まれる。結婚後、長男の死など相次いで不幸が訪れるが、方子は李垠の苦悩を深く理解して支えた。しかし太平洋戦争が終わると二人は皇族の身分も国籍もすべてを失う。方子は殿下を故国に帰そうとするが、難航する。ようやく二人に韓国に帰還する許可が出たのは終戦後20年近く経った日韓国交正常化直前のことだった。しかし、殿下はすでに病いに侵されていた……



2026年7月10日(金) 18時30分(18時開場)

銀座ブロッサムホール
(東京都中央区銀座2-15-6 中央会館)

チケット R席 10,000円 / S席 9,000円 / A席 8,000円 / B席 7,000円 / C席 6,000円

お問い合わせ mail@lastqueen.net mail@iaw.co.jp ☎03-5338-4701 FAX 03-5338-4702

主催: アイ・エー・ダブル (IAW) オペラ「ザ・ラストクイーン」実行委員会 後援: 駐日韓国大使館 韓国文化院

助成:



協賛:



<http://lastqueen.net>

Supported by Arts Council Tokyo (Tokyo Live & Stage Support Grant)